



ロータリー：
変化をもたらす

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 奉仕の理想のさらなる実現に向けて

パワー浜松ロータリークラブ (2017-18年度 会長: 長谷川 博久 幹事: 後藤 達朗)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第709回例会 3月4日 PM14:30~18:15

- 式典: 三ヶ日文化ホール
- 懇親会: 浜名湖レークサイドプラザ
- 静岡第7分区 IM(インターシティ・ミーティング)
「ロータリアンとしてなにができるのか」
- ホストクラブ: 浜名湖 RC

〈出席報告〉

会員数 79名(内 出席免除会員3名)

出席数 34名 出席率 44, 73%

前々回出席率 85, 53%



国際ロータリー 第2620地区 Rotary

静岡第7分区 IMのご案内

ロータリアンとして何ができるか

2018年3月4日(日)

式典 14:00-16:15

三ヶ日文化ホール
浜松市北区三ヶ日町三ヶ日500-1
TEL 053-524-1512
受付 13:30~
登録料 8,000円

懇親会 16:45-18:15

浜名湖レークサイドプラザ
浜松市北区三ヶ日町下尾家200
TEL 053-524-1311

タイムスケジュール
14:00~
式典(三ヶ日文化ホール)
パネルドiskusション
~会場移動~
16:45~
懇親会
(浜名湖レークサイドプラザ)

パネルドiskusション コーディネーター
静岡県立大学 高畑 幸 准教授

その他のプログラム 文化発表
中国(China) タイ(Thailand)のみなさん

多文化共生
たぶんかきょうせい!

さよなら第7分区!
16:45~ 懇親会
(浜名湖レークサイドプラザ)
本年度で終焉する第7分区の歴史を振り返り、なつかしいひとときを過ごして頂きます。

2017 ▶ 2018

IMリーダー(静岡第7分区ガバナー補佐) 佐原 功一郎
ホストクラブ会長(浜名湖RC) 柴田 浩
IM実行委員長 中村 嘉麿久



ガバナー挨拶 RI 第 2620 地区 ガバナー 松村 友吉

国際ロータリー第 2620 地区静岡第 7 分区の IM が、盛大に開催されますこと、心よりお祝い申し上げます。本年度は当分区の佐原功一郎ガバナー補佐に大変なご苦労をお掛けしました。次年度からの分区再編についていろいろご意見のある中、分区内をしっかりと纏めていただきました。また、本年度の重点目標である、会員増強及びボリオ撲滅活動を兼ねた公共イメージ向上活動に、大変なご尽力をいただきました。ありがとうございました。



今回の IM のテーマは「多文化共生～ロータリアンとして何が出来るか～」だと伺っています。静岡県の西部エリアは、製造業が主体で、そこで多くの外国人が働いておられます。その出身国は多岐に亘り、また経済環境によってその都度変化しています。その外国人の方々が企業の戦力になりながら、一方でなかなか日本社会に溶け込めぬいろいろな課題を抱えている、とも聞いています。グローバル社会になり、海外との人的交流は以前と比べれば格段に活発になりました。また、外国人観光客の数は年間 2800 万人を超えたとも聞きます。

しかし、日本社会の閉鎖性や文化・習慣の壁によって、どうしても日本社会に適合できない方も居られます。一言で「多文化共生」といっても、なかなか実現のためにはクリアすべき課題は沢山あります。今回は、ロータリアンの視点で、この課題にスポットを当てて考えようという企画です。青少年交換・国際貢献・世界平和フェロー等々、ロータリーのやろうとしているグローバル事業は多々ありますが、地域に根ざし足下から考え行動するグローバル事業の一つが、今回のテーマである地域の多文化共生であろうと思います。

他者の立場や想いをくみ取り、互いに支え合うことを大事にしてきた日本社会が、未来に向けて外国の方々と共に助け合い共存し合う社会を作り上げていくことの重要さは、誰もが認めるところです。今回の IM を切っ掛けにして、今一度ロータリーの事業を見直していく必要があります。

最後に、今回の IM 開催にご尽力いただいた分区並びにクラブの皆様へ、心より御礼申し上げます。

IM リーダー挨拶 RI 第 2620 地区 静岡第 7 分区

ガバナー補佐 佐原 功一郎

本年度静岡第 7 分区の IM を、松村ガバナーを始めとするご来賓の皆様方や分区内各クラブの会員の皆様方にご理解ご協力を賜り開催できますことを心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。



さて、本年度は IM のテーマとして「多文化共生」をあげさせて頂きました。その背景として、身近な視点では第 7 分区を含めた県西部地域は外国人労働者とその家族の人口比率が全国的にも高く、生活や教育、コミュニケーション等の面で様々な課題を抱えていることです。国際的には移民問題における雇用や格差・差別さらには紛争・テロによる深刻な社会不安の増大、そしてその反動として米国や EU における右傾化や保護主義の台頭による経済不安が広がっていることです。そしていずれの問題も「多文化共生」あるいはロータリー活動の命題でもある「多様性」が問われていると考えております。

多文化共生とは「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域社会の構成員として共に生きて行くこと」とありますが、言うは易く行うは難いです。同じ人間として共生しようとするのは「意識（理性）」の働きであり互いの議論で同意する事はできますが、一方様々な環境で身に付いたそれぞれの異なった「感覚」で捉える民族・文化・民俗・習慣等の違いを認め合い、乗り越える事は難しいと考えるからです。

しかし、実現が困難であっても奉仕の理念や中核的価値観に合致した課題であれば議論し先ず行動を起こすことが「変化をもたらす」ことに繋がると信じております。具体的な議論や方策はこの後のパネルディスカッションに期待したいと思います。

ともあれ IM の目的は先ず集まる事、そして会員相互の親睦と奉仕の理想を勉強する事とあります。

お集まりの皆様方が大いに議論を楽しみ、親睦を楽しみ、ロータリーを楽しんで頂けます様お願い申し上げます、IM 開催のご挨拶とさせていただきます。

歓迎の言葉 浜名湖ロータリークラブ 会長 柴田 浩

今日は国際ロータリー第 2620 地区第 7 分区インターシティミーティングにこのように大勢のロータリアンの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございます。



浜名湖ロータリークラブは静岡県の西の玄関口にあたり、湖西市及び浜松市北区三ヶ日地区のメンバーを中心に活動しております。

今日は第 2620 地区松村友吉ガバナーを迎えてのインターシティミーティングです。多文化共生社会のために、今、何をすべきかなどを考えるきっかけにしたいと思っています。そして、多方面の方々とつながりを広げる第 1 歩にしたいだけだと考えています。

第 7 分区でのインターシティミーティングは今回で最後となり、次期からは第 5 グループとして新たにスタートしていきます。

今日は我々浜名湖ロータリークラブのメンバー全員でおもてなしをさせていただきます。懇親会では、第 7 分区の歴史を振り返り、懐かしいひと時を過ごしていただきたいと思います。最後まで楽しんでください。

簡単ですが、歓迎のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

インターシティミーティングテーマ趣旨説明

IM 実行委員長 中村 嘉壽久

「多文化共生・ロータリアンとして何が出来るか」

浜名湖ロータリークラブは創立 10 周年の記念事業としてペルーに小学校を寄贈致しました。その後、創立 30 周年にはミャンマーにも小学校を寄贈し、学用品の支援の継続と視察をしております。



ロータリークラブは青少年交換等、海外に目を向けた事業も多数行なっておりますが、このような外国との交流がある中で、今回の IM を行なうにあたり考えた事は、日本におられる外国の方々と日本人との「共生」であります。浜松市内と湖西市内には多くの製造業があり、沢山の外国人が就労され生活をしております。

遠く離れた異国から日本に生まれ、慣れない環境にとまどいや不安を抱えながら職場や地域の住民として、そして子供達は就学の場でのコミュニケーションの取り方に苦労されている事と思います。

このような環境下でロータリアンは何をすれば良いのでしょうか？我々はこの地域に居住する外国の方々と共生を高める手助けをするべきではないかと思っています。

そのような思いを具現化する第一歩として、私達は「多文化共生・ロータリアンとして何が出来るか」のテーマでの講演会とパネルディスカッションを行なう事と致しました。

ロータリアンの中には製造業の経営者も多く、外国人労働者も多数雇用されており、実態を肌で感じている会員も多い事でしょう。

ご講演とパネルディスカッションのコーディネーターは静岡県立大学の高畑幸先生にご依頼申し上げます、パネラーは外国人の方々と、地元の高校を卒業後東京で芸能活動をされている方、湖西国際交流協会講師、浜松市職員、ムンド・デ・アレグリア学校長の皆様をお願い申し上げます。

其々の立場で活発な意見交換をして頂き、今後はより充実した「多文化共生」を進めていけますように願っております。

今回の IM で結論を出すことは出来ませんが、我々ロータリアンの皆さんの意識が変わる事で、今後日本で働く人達が少しでも地域に馴染み、生活しやすい環境整備に繋がる為の「虹の架け橋」になれば大変嬉しく思います。